

# 重要技術分野を活かし自らの強みを 伸長させる大学経営戦略

大阪大学総長 熊ノ郷 淳

2026年3月18日

## The University of Osaka: Rebirth for Excellence and Innovation

地域に寄り添い世界の「いのち」を守る

社会と共に未来の「くらし」をデザイン

▶ 世界トップレベルの研究力

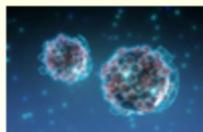
▶ 世界的な産学連携拠点

知の創造

知の実装

総合知と実践力を駆使し  
未来社会に貢献する  
この国の新しい大学のかたち

知の源泉



大学発スタートアップの先駆け  
(BIKEN財団・1934年)  
感染症ワクチン開発  
(麻しんワクチン、水痘ワクチン)

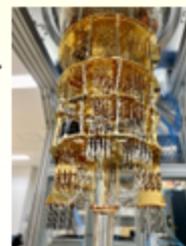


我が国初の抗体医薬  
アクテムラ®  
関節リウマチ薬  
(ブロックバスター)



新型コロナワクチン大学拠点接種  
全国に先駆け近隣住民に実施

国内企業の技術を結集し  
量子コンピュータの  
完全国産化に成功



液体検査装置 (LSR-M2)  
国内80%以上の空港と  
国外空港に設置



(写真提供: 阪急電鉄株式会社) 世界初自動改札機の設置  
(阪急電鉄北千里駅)

▶ 特筆すべき実績

WPI採択数



1位  
タイ

女子学生数  
女性研究者数

1位

実用新案特許取得  
(4年連続 国内1位)



1位

世界大学ランキング  
industry指標



World University Rankings 2025

1位  
タイ

学部学生数

1位

専攻25言語の外国語学部を有する  
唯一の研究型総合大学



産学連携等研究収入及び  
寄附金収入等の比率

1位

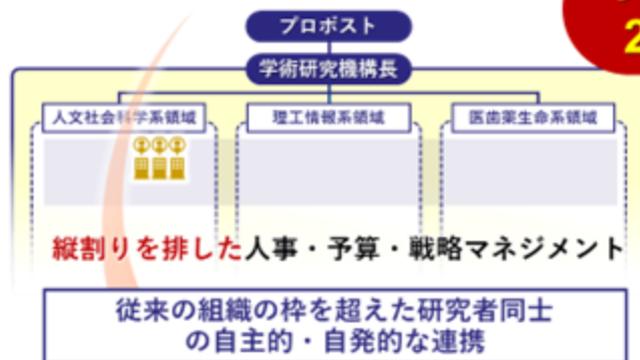
【参考資料P16参照】

- 研究者の力を結集し、「投資するに値する大学」としてのガバナンス体制を築く
- 従来のさまざまな壁を排した研究者組織〔学術研究機構〕や教育組織〔教育機構〕等を再編

## 次代をリードする研究領域を次々と生み出すことが可能な組織体制へ改革

### 組織を変える

縦割りを排する



### 人事を変える

透明性・公正性・戦略性

### 学術研究機構 2026.4設置

- ▶ データベースを用いた世界レベルの候補選定  
= 客観的な優秀人材リストの作成
- ▶ プロボストによる選考計画、プロセスの確認  
= 透明性・戦略性の確保
- ▶ 業績に応じた給与体系

全学体制により国内外から世界レベルの研究者を獲得

研究推進本部  
既設

### 包括的に研究支援する

- URA等研究開発マネジメント人材の研究企画支援
- コアファシリティ
- PI人件費制度等による本人インセンティブ  
+若手研究環境整備

### 大学が責任を持ってプロジェクトを遂行

世界最先端教育研究拠点を次々と形成

教育機構  
2026.4設置

### 重点技術分野の人材を育成する

- 研究志向の大学院学位プログラム一括管理
- リベラルアーツ教育体制強化
- Off Campusのアントレプレナー教育展開

### 産学連携

### 官民との壁を越え自律的に経営する

- 省庁を超えた官民からの投入資源を惹きつける  
+学内資源配分の最適化
- CFO、CIOによる資金運用体制の強化
- 「支援型」から「フィランソロピー型」への基金事業展開
- 大学債等での戦略的な施設・スペース確保

### 産業エコシステムを拡張する

- 免疫、量子、フュージョンエネルギー等を皮切りに、今後、感染症・創薬拠点等も形成
- 国家戦略に加え、大阪への成長戦略にもコミット

共創機構  
既設

社会価値  
デザイン機構  
2026.4設置

- 大阪大学の強い研究領域で、かつ「国等の重要技術分野（国＋大阪府等）」を戦略的に重点推進
- 〔6つの戦略的領域〕で、産業を伸ばし健康経済安全保障に寄与

## 重点研究3領域

現在の世界トップの研究をさらに推進し、社会実装で世界を牽引する3分野

### 免疫学・オルガノイド

WPI The University of Osaka



- ◆ 世界最高水準の基礎免疫学研究拠点
- ◆ 世界的な賞を受賞した著名な研究者集団
- ◆ 基礎研究成果を活かすシームレスな産学共創を実現

PRime WPI The University of Osaka

- ◆ 「ヒューマン・オルガノイド生命医科学」と「情報・数理科学」の2分野を世界で初めて本格的に融合した全く新しい科学分野「ヒューマン・メタバース疾患学」を創成

### 量子情報・生命

Center for Quantum Information and Quantum Biology, the University of Osaka



- ◆ 多様な分野における量子ソリューションの展開により次々と新産業を創出、量子産業の中心地へ



日本で最初の純国産量子コンピュータ

### フュージョンエネルギー

Institute of Laser Engineering The University of Osaka



- ◆ 異業種連携で大型パワーレーザーを研究開発
- ◆ 大型パワーレーザーの研究開発サイクルをグローバルに展開




## 次代を担う新興領域（二の矢、三の矢をインキュベート）

### 感染症・創薬

- ◆ 感染症研究の最前線で活躍（COVID-19）
- ◆ 2021年 日本財団・大阪大学で感染症の脅威から「いのち」と「くらし」を守るプロジェクトを開始
- ◆ 日本財団が大阪大学へ国際的な拠点創設に資する230億円規模（10年間の総額）を助成
- ◆ 2026年3月 感染症危機事象に備えた連携協力に関する協定書を締結予定

大阪府、大阪市、大阪公立大学、大阪大学、大阪健康安全基盤研究所の5者協定



大阪大学・日本財団 感染症センター 2025年2月完成

### バイオものづくり

- ◆ 大阪高等工業学校醸造科の醸造・発酵学にルーツを有するバイオテクノロジー（竹鶴正孝氏（ニッカウヰスキー創業者）卒業）

#### 革新的GX技術の創出

- ◆ 2025年 カーボンニュートラル連携機構を設置
- ◆ 多様な微生物機能の開拓のためのバイオものづくりDBTL技術開発
- ◆ 温室効果ガス削減とエネルギーの安定供給に貢献

#### 食用培養肉の製造

- ◆ 大阪・関西万博にて培養肉およびミートメーカーを展示



### 造船

- ◆ 日本の貿易は重量ベースで99.6%の物資を船で運送
- ◆ 日本で造船関連の研究ができる大学はほとんどない

→大阪大学は、船舶や海洋構造物の研究において世界トップクラス

#### 経済安全保障 重要技術育成プログラム

- ◆ 「持続的で競争力に優れる海事業業のための統合シミュレーション・プラットフォームの構築」が研究開発課題に採択
- ◆ 海事業業の国際競争力向上へ貢献

【国内の研究機関、企業等とのネットワークは参考資料P17参照】

下図：CSTI 重要技術領域検討WG 取りまとめ概要（2025/11/27）から抜粋

国家戦略技術領域
AI・先端ロボット関連技術
量子関連技術
半導体・通信関連技術
バイオ・ヘルスケア関連技術
フュージョンエネルギー関連技術
宇宙関連技術
新興・基盤技術領域
造船関連技術
航空関連技術
デジタル・サイバーセキュリティ関連技術
農業・林業・水産関連技術（フードテックを含む）
資源・エネルギー安全保障・GX関連技術
防災・国土強靱化関連技術
創薬・医療関連技術
製造・マテリアル（重要鉱物・部素材）関連技術
モビリティ・輸送・港湾ロジスティクス（物流）関連技術
海洋関連技術

- 最先端のアカデミア研究環境を起点として「世界から人が集まる」拠点を形成
- 官民の研究費獲得と大学改革の組み合わせにより研究拠点が面的に広がり、産業クラスタ形成へ

## 発展プロセス

免疫学フロンティア研究センター・坂口 志文 特別荣誉教授  
が2025年ノーベル生理学・医学賞を受賞



## ポイント1 継続的支援と世界的コラボレーションの結晶化

- ノーベル賞に至る科学的発見→長い時間をかけWPIを経てノーベル賞を受賞
- WPIによる基礎研究への継続的支援と「強い免疫」の社会実装に産業界からの支援を惹きつけ、世界中から若手、トップレベル研究者が集まる研究環境を構築



※WPI (World Premier International Research Center Initiative)

## ポイント2 未来を切り拓く研究拠点の連鎖と人材育成

- 連綿と継承される強い免疫学グループの発展。2007年 免疫学フロンティア研究センター (IFReC) がWPI採択 →2021年 感染症総合教育研究拠点 (CiDER) →2022年 ワクチン開発拠点 先端モダリティ・ドラッグデリバリーシステム研究センター (CAMaD) 等へと連鎖発展
- 2024年 感染症学・免疫学学位PG創設へ発展 [ボン大学 (独)・マヒドン大学 (タイ) 等連携]

## ポイント3 社会を変える実装で企業と包括連携 [中外製薬 (10年間、総額100億円の支援)・大塚製薬]

## 第1回日本オープンイノベーション大賞受賞



JAPAN OPEN INNOVATION PRIZE

## 今後の方向性

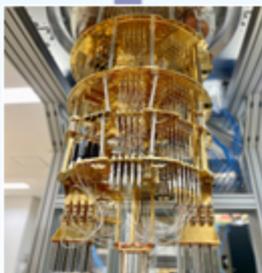
## 関西にライフサイエンス産業クラスタを形成

【参考資料P18参照】

- ▶ 大阪成長戦略「Beyond EXPO 2025」の成長産業としてコミット。大阪北部から中心部まで広域展開
- ▶ 大阪関西の製薬企業や医療機器産業と大学の研究成果を結びつけ、オープンイノベーションを一層推進
- ▶ 国内唯一の関連19病院+1万床超の医療情報ネットワーク (OCR-net) も活用した創薬・先端医療開発
- ▶ 坂口特別荣誉教授の研究を更に発展させ、健康経済安全保障へ寄与 (レグセルによる研究成果の実装)
- ▶ これらにより、次代を担う感染症・創薬研究を推進

- 学際的研究クラスターを大学がインキュベートし拠点化を進展

## 発展プロセス

量子の卓越研究者の存在 **70名超** と量子人材の育成進展QIQB発展の  
ポイント

ポイント1 ▶ 総長・プロポストが重要分野を目利きし、教員ポストやスペース（大学債等）を配分

ポイント2 ▶ 大学の研究インキュベーションシステムで成長 **15** ポスト

- 分野を越えた協働により新学術領域を創成する組織として、2017年に先導的学際研究機構（Institute for Open and Transdisciplinary Research Initiatives, OTRI）を設置
- OTRIでの体制整備以降、COI-NEXT、ムーンショット、Q-Leap等を獲得し、量子拠点へと発展
- 量子技術国家戦略（3つの戦略+2025年5月「量子エコシステム構築に向けた推進方策」等）

ポイント3 ▶ 拠点からの社会実装と人材育成が進展

- 大阪大学の研究成果を核とした完全国産量子コンピュータ【参考資料P19参照】
- 2018年QunaSys、2021年キュエル（大学発スタートアップ）設立
- 学位PG新設や産業界・国研等との人材育成コンソーシアム（40機関以上が参画）
- トップクラスの海外大学との国際共同研究（Oxford、NYU等）

## 今後の方向性

## 大阪中心部へ進出し、関西に新興産業を創出

- ▶ 大阪成長戦略「Beyond EXPO 2025」の成長産業として明確にコミット
- ▶ 2026年は、大阪府と大阪大学が連携し、企業や研究者等が交流できるコミュニティを構築
- ▶ 複数の企業との組織間連携による量子ソフトウェア等のコア技術に関する共同研究と知財戦略の構築
- ▶ 国の量子技術イノベーション拠点を大阪から拡大し、産・官コンソーシアム型で教育や国際共同研究を進行（研究成果の海外展開に向け、ドイツやマレーシアをはじめとした海外から人材獲得・育成を推進）
- ▶ 拠点ではスタートアップ・スピンオフ企業を創出・支援し、次代の量子技術関連産業成長を継続的に推進

- 共同利用・共同研究拠点を基盤として国家戦略等を活用し、国際的イノベーション拠点へ発展

## 発展プロセス

レーザー科学  
研究所の優位性

- 国産大型レーザーシステム

日本で唯一

- 国際連携ハブレーザー共同研究所

日本で唯一

- 海外スタートアップ等との共同研究部門の設置 (Blue Laser Fusion Inc等)

阪大の強みである共同研究部門システムを活用した民間基金の流入

【参考資料P20参照】

レーザー研  
発展の  
ポイントポイント1 ▶ **ガバナンス** 先見性がありリーダーシップのある組織長を総長が任命ポイント2 ▶ **2010年 共同利用・共同研究拠点化から国家戦略等を活用し強みを伸長**

- 2019年「高エネルギー密度科学」に関する日米政府間科学技術協定
- 2020年 日本学術会議提言「パワーレーザー技術と高エネルギー密度科学の量子的飛躍と産業創成」
- 2021年 EX-Fusion (大学発スタートアップ) 設立
- 2023年 学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想

【ロードマップ2023 J-EPoCH計画】

- 2024年 パワーレーザー (レーザーフュージョン技術を基盤とした大学発スタートアップ) 設立 → 2025年度JAXA宇宙戦略基金を獲得
- 2025年 内閣府「フュージョンエネルギー・イノベーション戦略」の下、QSTやNIFSとともにフュージョンイノベーション拠点として整備が決定

ポイント3 ▶ **官民からの投入資金を獲得**

- 唯一無二の技術開発力・施設
- 産学連携部門の拡張 約1.8倍 (5部門 (2022年) → 9部門 (2026年))

ポイント4 ▶ **国際的な人材ネットワークを形成**

- 国内外クロス・アポイントメント
- 連携フォーラム (パワーレーザー62社、IFE12社、光エレクトロニクス110社) 等

## 今後の方向性

技術の海外展開により、国際競争力と経済安全保障を向上

- ▶ **フュージョンエネルギー・イノベーション戦略、国家戦略技術領域として明確にコミット** (世界をリードする「高繰り返し・高効率パワーレーザー技術」の実験エリアの拡張・整備)
- ▶ ヒトとモノの国際的なサプライチェーンを構築するとともに、世界で活躍できる人材を育成
- ▶ 附属マトリクス共創推進センターを中心に、**新産業の創出 (宇宙レーザー利用等)** や既存企業の革新を促進 (学際連携、国際連携、産学連携、施設連携を重層的に取り扱う体制を強化)



オンリーワンの施設

- 産業界と大阪大学の強固な連携を活かした人材育成
- 大学の強みを活かし、国の成長戦略にコミットする人材育成

## 今後の展開

## 多様な仕組みを構築・活用し、大阪大学が成長分野の牽引

### 産学連携

### 産業界との博士人材育成の仕組み化

#### 事業内容

- 協働研究所内で博士号取得（企業に所属したまま修学）
- 大学と企業の**共同研究成果の社会実装を担う**人材を育成

#### 今後の展開

- 島津製作所以外の企業へ事業を展開（複数社と協議中）

#### 実績

- 産業界と大阪大学の連携状況
  - ▶ 協働研究所**26**件 共同研究講座**86**件（2026年1月現在）

#### 大阪大学×島津製作所

#### 「REACHプロジェクト」（2023年度～）

- 学生が修士終了時点で島津製作所に就職
- 引き続き博士後期課程学生として博士号取得を目指す



### 契約学科

#### 事業内容

- 大学と企業が連携して**実務に即した教育を実施**
- 企業は専門知識を取得した**学生を即戦力として採用可能**

#### 今後の展開

- 協働研究所、共同研究講座の連携を活用した学科・コースを設置
- 工学研究科（**造船、バイオ分野等**）を中心に協議中

### 産業・科学革新人材事業

#### 事業内容

- 最先端技術分野の研究開発・人材育成計画を**大学が産業界等と連携**

#### 今後の展開

- 協働研究所、共同研究講座の連携を活用した研究者・技術者の育成
- **バイオ、ライフサイエンス分野**を中心に協議中

### 大学・高専機能強化支援事業

#### 事業内容

- **特定成長分野**を牽引する**高度専門人材**の育成

#### 今後の展開

- 大学の戦略的領域の人材育成を推進
  - ▶ **量子情報、造船、バイオ分野等**

#### 実績

情報分野での学生定員を増員  
学部60名（2025年度～）  
大学院45名（2029年度～）予定

- 卓越した研究に大学が人・リソースを集め拠点化。官民からの投入資源により拡大・発展
- 大学が経済圏の駆動システムの一員となり、地域経済の成長と国際化、国の経済安全保障に寄与

## 研究の持続成長と大学からの包括的支援システム

## 産学連携

④、⑤の社会実装フェーズの体制強化が今後の課題

### 共創機構（総長が機構長）

総長による迅速な支援判断が可能

産業界との  
組織対組織による  
大型化

- 包括連携協定
- 共同研究講座
- 協働研究所

### 研究拠点化

世界トップレベルの  
研究者の集積

研究  
成長曲線

1

総長による戦略投資

国の政策的支援  
官民からの投入資源を獲得

→ 経営企画DXシステム“ReCo®”により  
戦略的に経営を判断【参考資料P21参照】

- 研究拡大に伴う施設・スペースの投資（大学債等）

- 学際研究推進（トップの目利き→先導的学際研究機構でインキュベート）
- 総長裁量ポスト（約200ポストの教員ポストをトップダウンで重点投資・再配分）
- 研究クラスタを牽引する先見性・リーダーシップのある組織長を総長が任命

産業クラスタ

経済圏と近接化

スタートアップ勃興

大学の知財を中心とした  
企業群の形成と新産業創出  
● 阪大若手経営者の会が支援

3

社会を変える実装  
エコシステム拡大

重要技術分野での人材育成

- 海外・企業連携型 学位プログラム
- アントレプレナーシップ教育（Innovators' Club）
- 協働研究所、共同研究講座（Industry on Campus）  
→ 島津製作所「REACHプロジェクト」  
企業に所属しながら協働研究所内で博士号取得

教育機構（プロポスト）

5

大学が経済圏の  
駆動システムに

- ▶ 地域経済の成長
- ▶ 社会課題解決
- ▶ 経済安全保障

4

# 社会実装エコシステムの拡大を実現するメカニズム

9

- 共同研究費の一部を産学官連携推進活動経費として産学連携の司令塔である共創機構の強化に活用
- 総長のリーダーシップの下、リエゾン機能やスタートアップ創出強化に投資し持続可能な発展を支える好循環を実現

【下図 全学的支援機能強化による共同研究費受入実績の拡大状況】



## さらなる拡大に向けて 社会実装フェーズを目指した体制強化

- ▶ トップ外交による経済圏との近接化、地域共創促進
  - ・ 経済団体、金融界との連携による海外展開
  - ・ 安全保障を踏まえた領事館等への接続
- ▶ 大阪大学がコンソーシアムコーディネーターとして機能
  - ・ 組織対組織の包括連携支援
  - ・ 共同研究講座×共同研究講座の複数企業による連携
  - ・ 自治体と産・学・金を繋ぐ地域共創研究員
- ▶ 法務・知財等スタートアップ創出支援【参考資料P22参照】
  - ・ スタートアップを構想する人材の増強
  - ・ 事業化に向けた知財戦略策定
- ▶ グローバルマーケティングオフィスによる海外展開支援
- ▶ フィランソロピー型の基金事業展開
  - ・ 社会課題解決のパートナーとしての価値創造

## 〔左図実績〕 戦略的活動・投資によって 共同研究費の受入が大きく拡大

- A** 大型包括連携契約の締結  
産学官連携研究拠点施設の整備【2014年】
- B** 共創機構（産学官連携の司令塔組織）の設置【2018年】
- C** 共創機構内に共同研究支援室を設置【2020年】  
（共同研究等の企画立案、制度設計、コスト積算支援）  
産学官連携推進活動経費の改定【2021年】  
（20% ⇒ 30%へ）

- 地域一体型の国際的な知の創造と人材育成のための拠点を拡大展開
- 大阪成長戦略「Beyond EXPO 2025」にコミットし、大阪の経済成長・海外展開に貢献

## 大阪の成長産業分野

ライフサイエンス    カーボンニュートラル

モビリティ            ロボット・AI

## スタートアップ

大阪のGDP目標 (2040年)  
 名目 81.0兆円 (国：1,000兆円)  
 実質 57.4兆円

【参考資料P23参照】

## 大阪・関西

## 産学連携



## 地域産業クラスター

大阪商工会議所  
 関西経済連合会  
 関西経済同友会  
 大阪府市  
 省庁                    等

## アカデミア連合形成

大阪公立大学  
Osaka Metropolitan University  
 大阪教育大学  
Osaka University of Education  
 奈良先端大  
Nara Institute of Science and Technology  
 岡山大学  
Okayama University  
 立命館大学  
Rikkyo University  
 産学連携・高大接続等の  
 ノウハウを共有

## 関西・東海広域連携



「大阪・関西サイエンスヒルズ」  
 ×  
 「名古屋・東海産学融合拠点」



名古屋大学  
THE UNIVERSITY OF OSAKA    名古屋大学 NAGOYA UNIVERSITY  
 名古屋・東海産学融合拠点と  
 組織対組織の連携により我が国の成長を牽引

## 大阪大学が進める教育研究拠点

### ライフサイエンス

### 中之島エリア

### 量子情報・生命

### AI・アンドロイド

### 梅田エリア

#### 未来医療国際拠点 (中之島クロス)

- 大阪府と連携した再生医療の産業化推進
- グローバルスタートアップ創出支援事業でライフサイエンス分野の社会実装を支援

Nakanoshima Cross



#### 中之島センター

- 人間性 (Humanity) を尊重した科学技術の社会実装  
 → SSI、ELSIセンター等

#### 大阪大学みらい創発hive

- 量子ソフトウェアの産学連携の場を形成へ
- 強い研究分野と街との接点
- アントレプレナーシップ教育



2024年時点の大阪大学発  
 スタートアップ数 **263社**  
 【内 **157社** が関西圏】

2035年までに**700社超**の  
 創出を目指す

大阪・関西サイエンスヒルズで分野を見定めたスタートアップ集積

- 社会に根差した知の創造・知の実装・人材育成のための国際クラスタ形成事業
- 天の時、地の利を生かし、「Beyond EXPO 2025」構想と戦略的協調

【計画の詳細  
参考資料P25参照】

**目標①：教育研究の学外への展開**  
＜アントレプレナーシップ教育、海外国内から人流形成＞  
～夢を育む街づくり～

### 【取組】

- ◆ 大阪中心部への教育研究拠点の進出  
再生医療、量子研究等の拠点を大阪市内に設置
- ◆ 関西の健康の基盤形成  
阪大病院と関連病院ネットワーク  
OCR-net（関連19病院・1万床超）を活用



**目標②：多様な共同研究の創出**  
＜大学（学生・研究者）、  
国内外企業等とのマッチング＞  
～夢に出会える街づくり～

### 【取組】

- ◆ アカデミア連合体の形成  
関西地域の連携、東海広域とも連携
- ◆ 企業等とのマッチング  
経済団体と連携  
大阪府による量子コミュニティの形成
- ◆ アカデミアシーズの海外展開  
大学、自治体、経済団体の海外ネットワーク活用

**目標③：スタートアップの集積地形成**  
＜新産業創出等による地域経済振興＞  
～夢をかなえる街づくり～

### 【取組】

- ◆ 大学発スタートアップ創出・育成支援  
OUVCのファンドによる支援
- ◆ 関西にスタートアップを集積形成  
経済団体と連携した起業場所の支援、  
メンター支援等

- 総長、プロボストによる重要技術分野等への戦略的投資を社会に展開し、共創担当理事、CFO主導により、**産業クラスタの形成と大学の持続的成長**の両立につなげる

国立大学経営改革促進事業により、体制整備

CFO

3 資金の戦略的運用

HANDAI Tokyo Square



東京虎ノ門に資産運用及び獲得の拠点を設置

資金運用室

- ▶ 2025年10月にCIOを採用 (長谷川英俊CIO)
- ▶ 大型研究費や寄附金等の獲得努力により1,000～1,500億円規模の運用規模を目指す

経済成長に貢献

①～③の  
好循環

4者の「経営中核」  
が機能

Strategic Planning Council

共創担当理事

2 社会実装フェーズの  
包括的支援

- ▶ 大阪・関西サイエンスヒルズ構想を推進
- ▶ 産業界等との多対多の包括的連携  
～大規模経済圏での産業クラスタ形成～
- ▶ コンソーシアムコーディネート機能を強化  
→ 大学連合、経済団体、自治体、産・学・金等
- ▶ 領事館との接続を活用したスタートアップの海外展開
- ▶ フィランソロピー型の基金事業展開  
→ 寄附募集活動に従事する職員数一人あたりの年間基金受入れ額に強み

総長・プロボスト

重点領域+次代の新興領域

1 重点研究領域への  
戦略的投資

社会実装フェーズで  
さらなる発展

産学連携

- 世界中に広がるグローバルナレッジパートナー（GKP）等「世界に伸びる」大学を体現
- GKPでは双方トップのコミットメント。全学的な組織間連携により国際共同研究や人材交流を促進し、地球規模の社会課題に挑む世界的研究拠点／ネットワークの形成や高度人材を育成

## GKP校 15大学

- ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（英）
- 上海交通大学（中国）
- グローニンゲン大学（蘭）
- ブリティッシュ・コロンビア大学（加）
- カリフォルニア大学デービス校（米）
- カリフォルニア大学サンディエゴ校（米）
- メルボルン大学（豪）
- モナシュ大学（豪）

- ゲッティンゲン大学（独）
- カールスルーエ工科大学（独）
- ストラスブール大学（仏）
- デルフト工科大学（蘭）
- ビーレフェルト大学（独）
- マンチェスター大学（英）
- ハイデルベルク大学（独）

2026年2月1日現在



### ▶ スタートアップの国際展開

- ✓ 坂口志文 特別荣誉教授らが設立したレグセル株式会社が2026年から米国で医薬品の臨床試験を開始
- ✓ シリコンバレーと日本をつなぐ大学発スタートアップアルファフュージョン社、Thinker社「Japan-U.S. Innovation Awards」※の2025 Innovation Showcase企業に2社同時に選出

※スタンフォード大学と北カリフォルニア・ジャパンソサエティが共催

### ▶ 国際的注目を集めるGISHWの

大阪・関西万博イベントに大阪大学が登場



### 国際標準化

(左) IEC会長  
(右) ISO会長

Global Initiative for Safety, Health & Well-being at EXPO2025 and Beyond

### ▶ 国際連携・展開の強化 大阪大学主催

- ✓ 第10回「HeKKSaGOn学長会議」を開催（2025年10月）

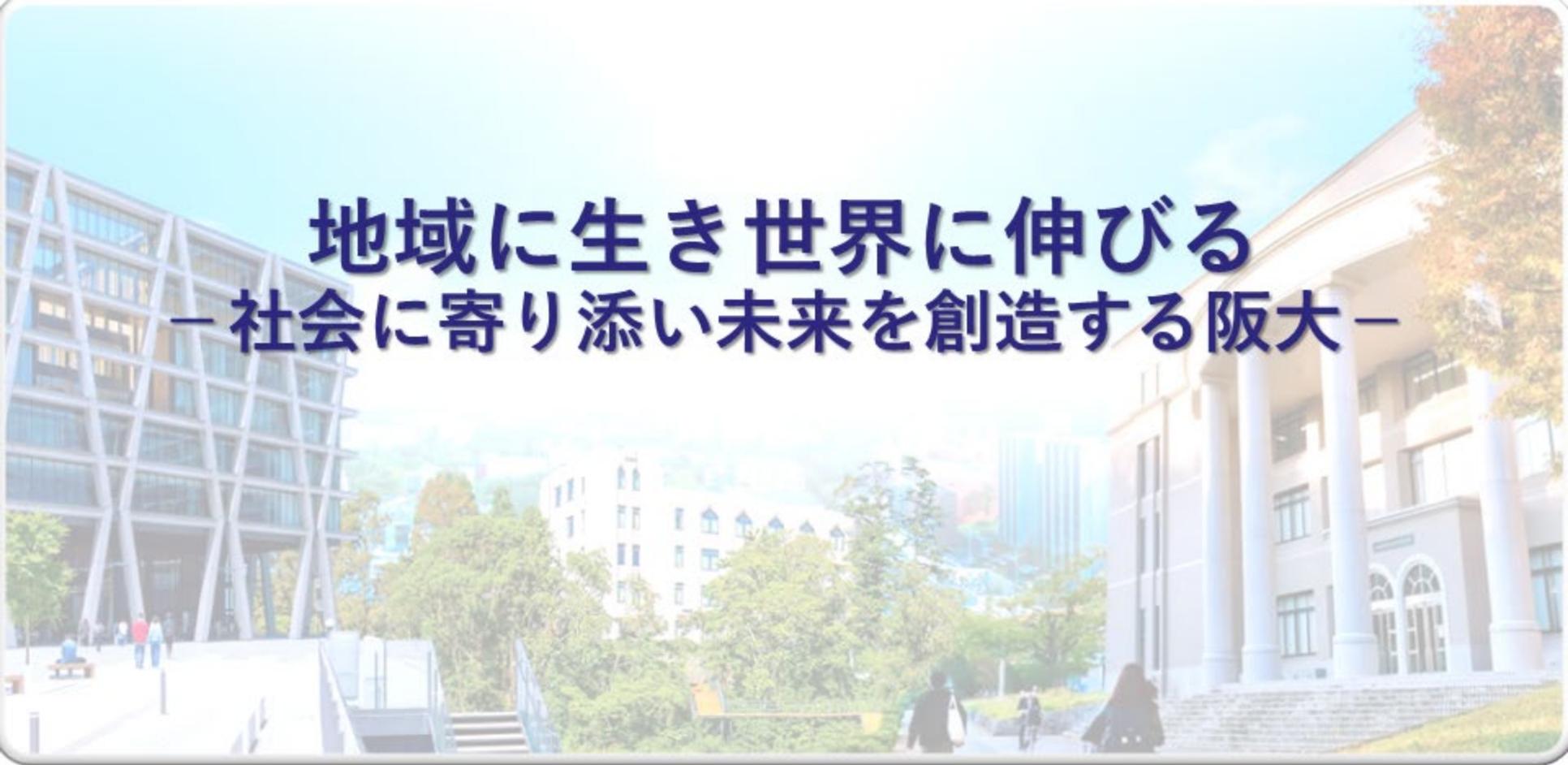


6大学による  
日独大学間  
アライアンス

- ✓ 日越学長会議（50校を超える大学が参画）の幹事校（2026年度）

## GKPとの連携取組例

- ◆ 双方からのシードファンド拠出による新たな国際共同研究の立ち上げ促進（UCL、マンチェスター大学）
- ◆ 上海交通大学との学術交流セミナー（約30年の実績）
- ◆ メルボルン大学との合同ワークショップ（免疫分野等）
- ◆ シリコンバレーに大学発スタートアップ連携拠点を設置（Berkeley SKYDECK（UC Berkeley発アクセラレータ）との連携）



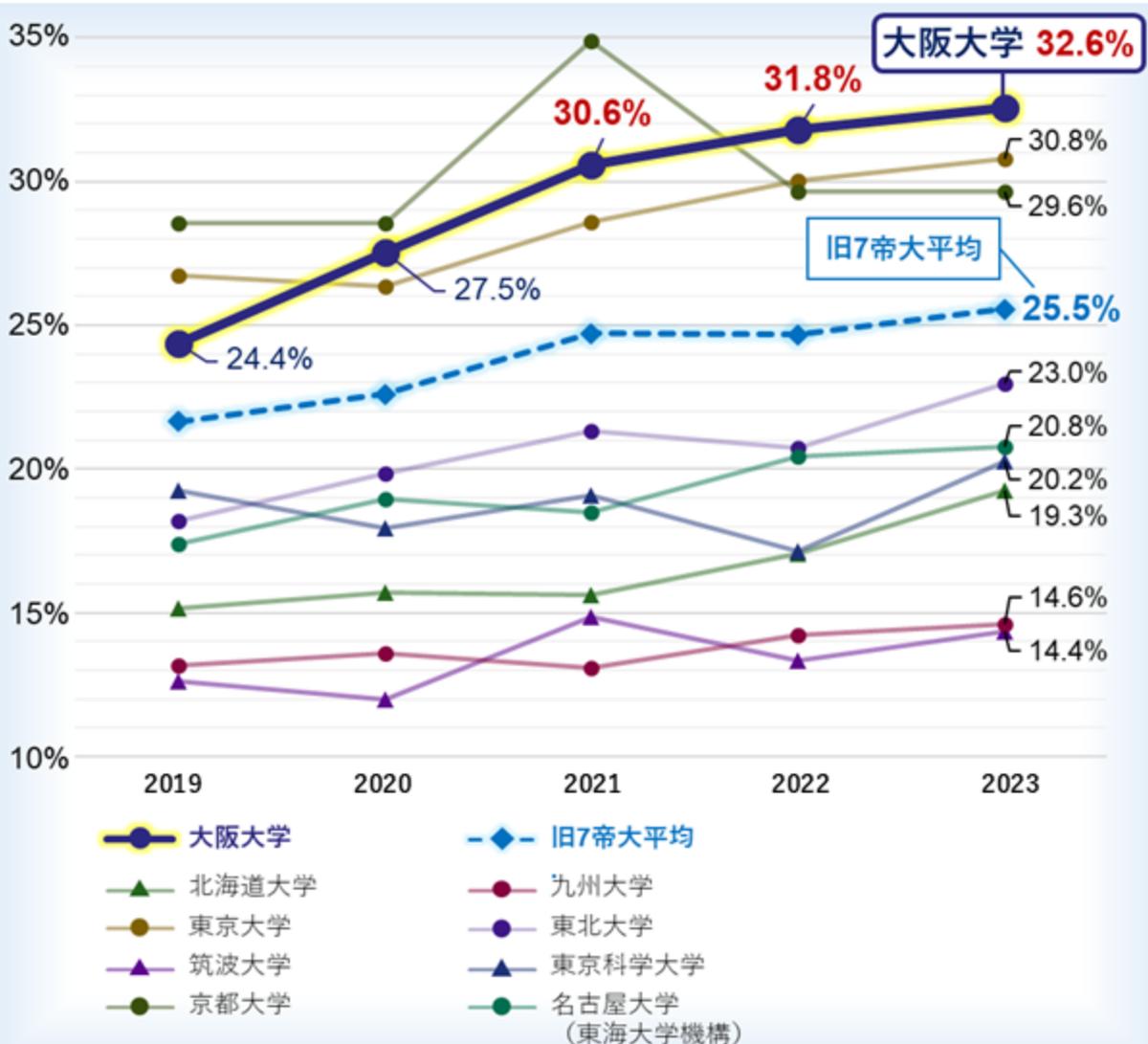
**地域に生き世界に伸びる**  
**— 社会に寄り添い未来を創造する阪大 —**



# 参考資料

科学技術・学術審議会  
大学研究力強化部会（第6回）

- 「産学連携等研究収入及び寄附金収入等比率」  
... 受託研究収入/共同研究収入と寄附金収入等の合計額の総収入に対する比率
- この比率が高いほど産業界/社会との連携度が高く、今後の財務基盤の強化への期待度が高いと考えられる



- ➡ 旧7帝大平均より **高水準** を維持
- ➡ **安定的** な産学/社会学連携の成長
- ➡ 唯一 **高水準3年連続30%超え**

高水準と安定成長を両立させる **基盤** が確保されている。

- 🏆 共創機構を中心とした活動が結実
- 🏆 社会学共創も強化し、寄附文化を醸成
- 🏆 今後は、東京においても活動を展開

(出典) 大学改革支援・学位授与機構  
「国立大学法人財務データ概要」

[https://www.niad.ac.jp/support/university\\_finance/](https://www.niad.ac.jp/support/university_finance/)

## 多様なネットワークを通じ、社会実装の加速と新たな価値を創出

### 免疫学・オルガノイド



- ◆ 10年間、総額100億円の包括連携協定



- ◆ 民間の研究所に拠点のサテライトを設置

### 感染症・創薬

- ◆ 日本財団が大阪大学へ国際的な拠点創設に資する230億円規模（10年間の総額）を助成
- ◆ 2026年3月 感染症危機事象に備えた連携協力に関する協定書を締結予定

大阪府、大阪市、大阪公立大学、大阪大学、大阪健康安全基盤研究所の5者協定



### 量子情報・生命

- ◆ 完全国産の量子コンピュータ開発に10社が参画



大阪大学の  
量子研究出口戦略に賛同  
企業等

40 機関  
2025.3現在

#### 連携企業等

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| ▶ 日本通信機株      | ▶ キュエル株           |
| ▶ コアックス株      | ▶ 理化学研究所          |
| ▶ (株)川島製作所    | ▶ (株)エヌエフ回路設計ブロック |
| ▶ (株)オータマ     | ▶ (株)アンリツ         |
| ▶ アルバック・クライオ株 | ▶ (株)精研           |

### フュージョンエネルギー

- ◆ 異業種連携で大型パワーレーザーを研究開発
- ◆ 関西電力を中心とし、企業後援団体「レーザー核融合技術振興会」を設立



#### 連携企業等

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| ▶ (株)オカモト<br>オブティクス | ▶ (株)ダイセル               |
| ▶ 神島化学工業株           | ▶ (株)EX-Fusion          |
| ▶ 浜松ホトニクス株          | ▶ Blue Laser Fusion Inc |
| ▶ (公財)レーザー技術研究所     | ▶ C&A                   |
|                     | ▶ (株)パワーレーザー            |

### バイオものづくり

- ◆ 国内企業5社と「培養肉未来創造コンソーシアム」を推進



培養肉未来創造  
コンソーシアム  
Consortium for Future Innovation by Cultured Meat



### 造船

- ◆ 海事産業各社と「先進海事システムデザイン共同研究講座（阪大OCEANS）」を開設



今治造船株式會社



## 大阪ライフサイエンスクラスター 大阪を健康・医療関連産業の世界的なクラスターに

ライフサイエンス分野における産学官の集積の強みを活かし、医薬品、医療機器、再生医療等製品、及び科学的根拠に基づいた健康関連製品・サービスなど、イノベーション創出を図ることにより、大阪が東西二極の一極として日本の未来を支え、牽引する成長エンジンの役割を果たせるよう、健康・医療関連産業のさらなる発展をめざしています。

### 集積する大学・研究機関等



彩都/彩都ライフサイエンスパーク

北大阪健康医療都市「健都」

Nakanoshima Cross

未来医療国際拠点  
Nakanoshima Cross  
(中之島クロス)

大阪公立大学  
Osaka Metropolitan University  
大阪公立大学  
バイオ・メディカル・  
フォーラム

大阪公立大学  
健康科学イノベーショ  
ンセンター

大阪大学  
免疫学フロンティア  
研究センター  
微生物病研究所  
蛋白質研究所  
医学部附属病院  
大阪大学

国立研究開発法人  
医薬基盤・健康・栄養研究所

国立循環器病研究センター

国立研究開発法人  
日本医療研究開発機構

国立研究開発法人  
産業技術総合研究所

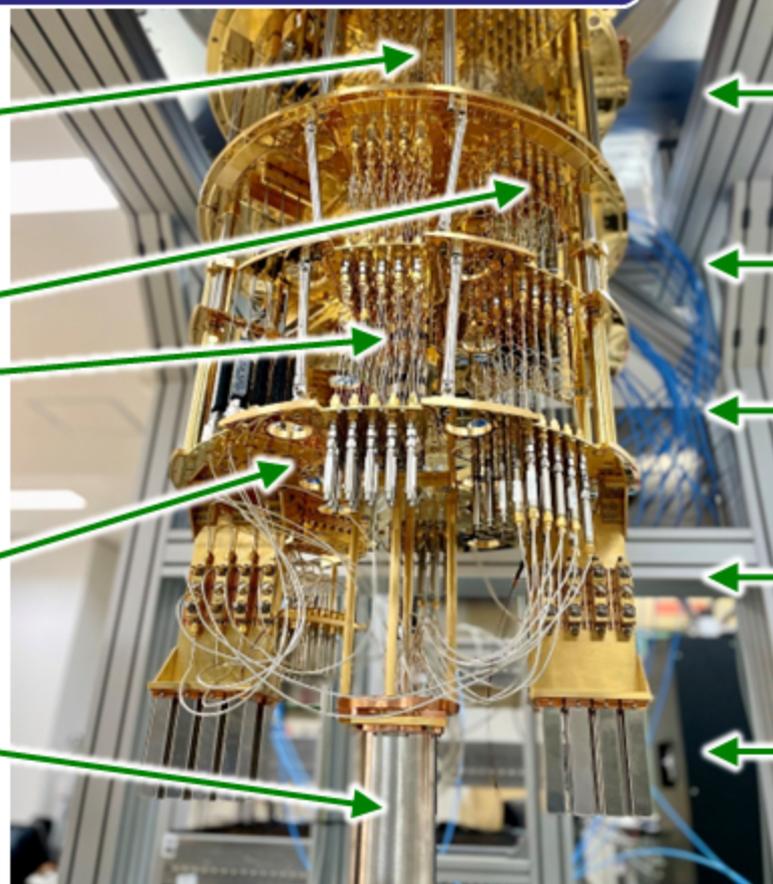
独立行政法人  
医薬品医療機器総合機構

(大阪バイオ・ヘッドクォーター事務局 (大阪府商工労働部) HP抜粋)

- 国内企業の優れた技術を結集し、量子コンピュータを開発（完全国産化に成功）
- 大学がリードして中堅企業等と協力し、量子ソフトウェアを誰もが利用できるプラットフォームである量子ソフトウェアコンソーシアムを構築

量子コンピュータの開発に中堅企業の優れた技術が結集

→ 研究者がリードしていたパッケージ化を大学のサポートスタッフが今後支援



## 低雑音増幅器

- ▶ 日本通信機(株)  
神奈川県 愛甲郡

## 低温ケーブル

## 超伝導ケーブル

- ▶ コアックス(株)  
神奈川県 横浜市

## 赤外吸収体

- ▶ (株)川島製作所  
神奈川県 川崎市

## 磁気シールド

- ▶ (株)オータマ  
神奈川県 川崎市

## 冷凍機

- ▶ アルバック・クライオ(株)  
神奈川県 茅ヶ崎市

## 制御装置

- ▶ キュエル(株) (大阪大学発スタートアップ)  
東京都 八王子市

## 超伝導増幅器

- ▶ 理化学研究所

## 低雑音電源

- ▶ (株)エヌエフ回路設計ブロック  
神奈川県 横浜市

## 計測装置

- ▶ アンリツ(株)  
神奈川県 厚木市

## チップパッケージ

- ▶ (株)精研  
兵庫県 神戸市

- 大学がリードして中堅企業を含む国内企業の多様な技術を集積し、統合型技術である大型パワーレーザー研究開発サイクルをグローバルに実現

総合技術としての大型パワーレーザー：多様な革新が芽吹く技術の沃野

## -学術・技術・産業をつなぐイノベーション・エコシステム-

レーザー研 4基幹部門 + 共同研究部門・協同研究所:9件(令和7年度) ※ ■ は、活動が終了した共同研究部門



- 学内外に点在する各種データ（人事、財務、研究者等）を集約してデータベース化
- 経営、人事、研究等について、データに基づく経営判断を支援

## システムの概要



## 活用事例

### 経営力分析 コストの可視化

- ✓ 学内の資源配分と成果が見える化
- ✓ 部局との懇談に活用

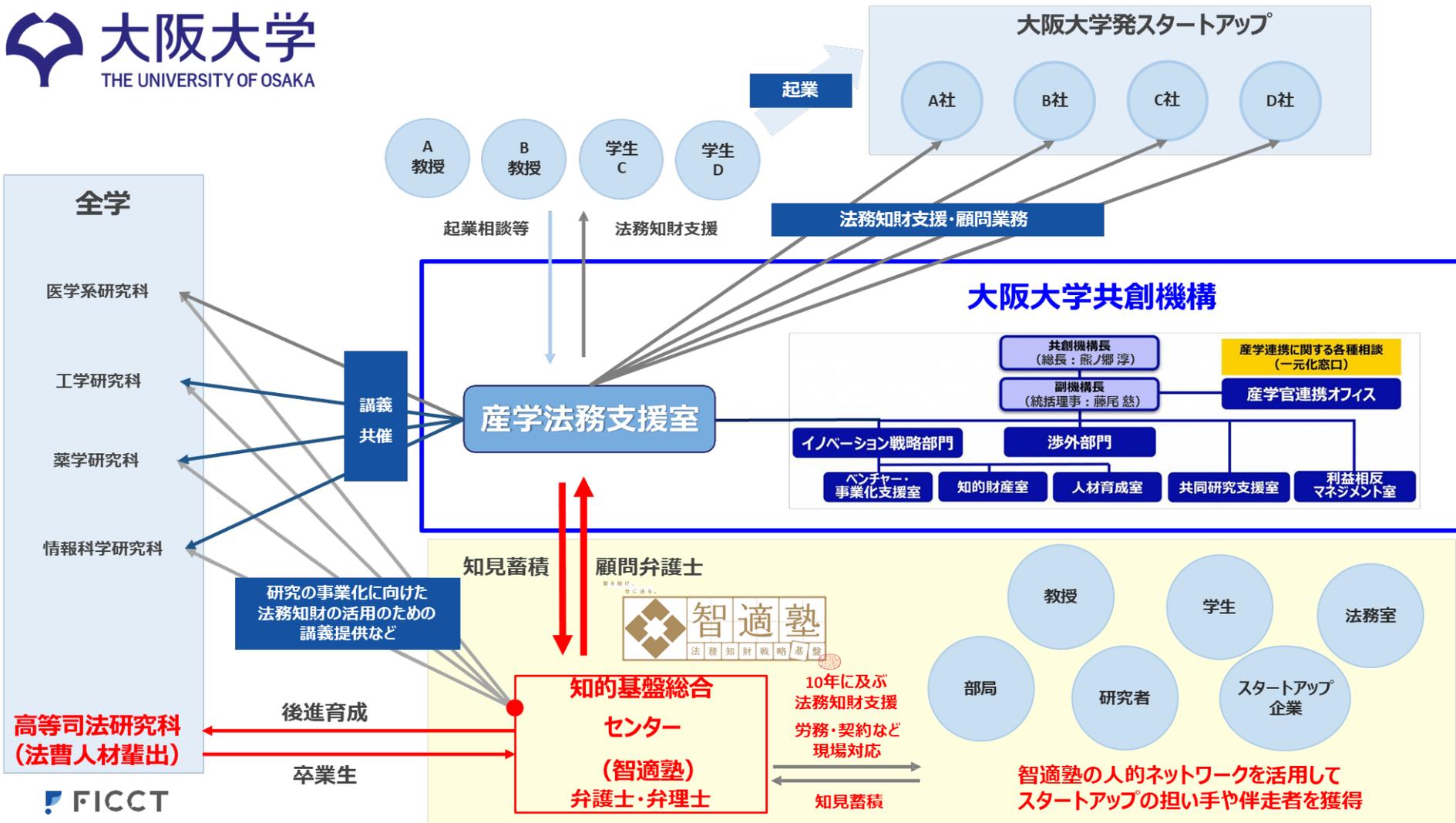


### 研究者分析 卓越した研究者の分析を人事に活用

- ✓ 拠点形成に向けて、世界から卓越した研究者の獲得に活用

- 大学発スタートアップが社会実装を実現するために各種**社会制度・法務**での支援が不可欠
- 学内に法的支援体制を構築

企業法務、知財法務、スタートアップ法務、大学法務、行政法務、国際法務等のトータル支援が必要

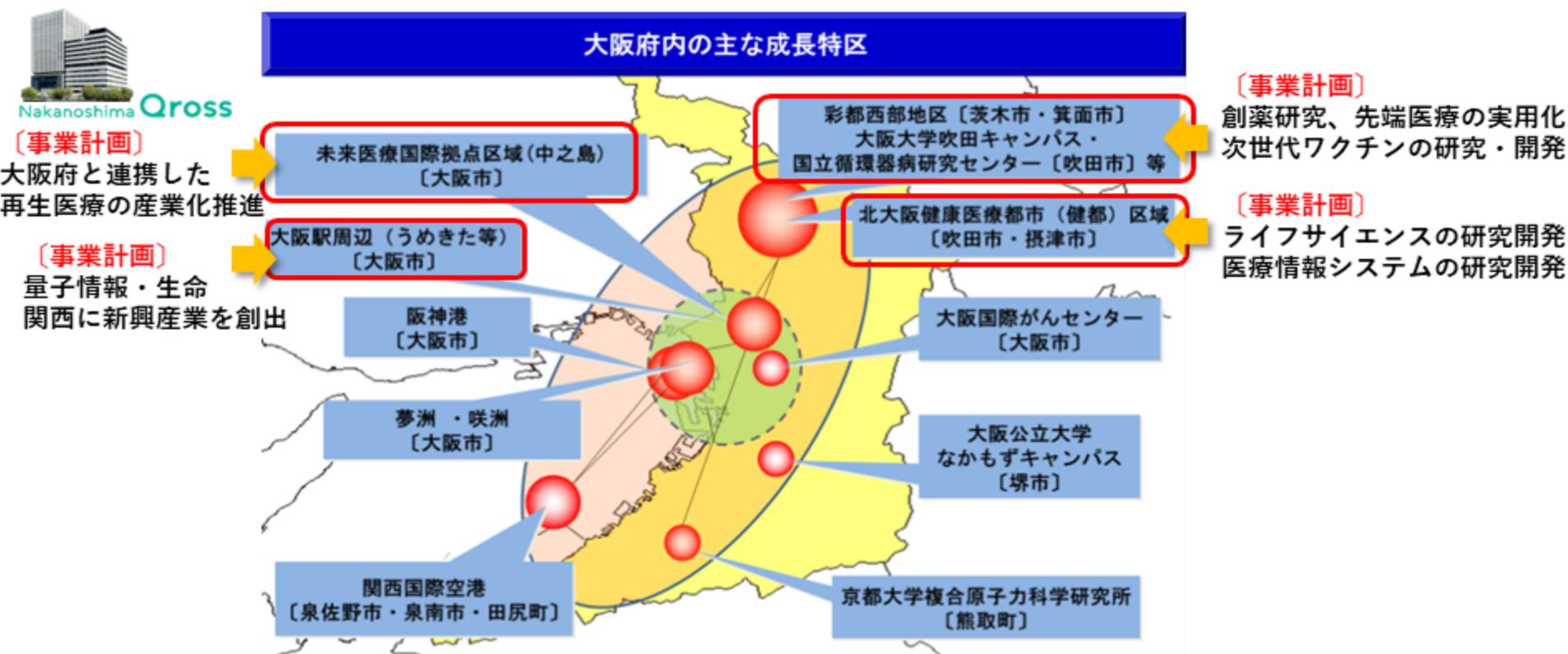


- 大阪府の成長特区において、**量子技術・AI技術等**が税優遇対象に拡大予定
- 先端分野の設備投資を促し、大阪・関西万博で披露された先端的な基盤技術の実装化が加速

## 〔成長特区における優遇税制（2012年開始）〕

- ◆ 大阪府の成長特区に進出し、**ライフサイエンス**や**新エネルギー**に関する事業を行った場合、認められれば、**法人二税（法人住民税、法人事業税）と不動産取得税が最大ゼロ**
- ◆ **これまで約1,000億円の投資**を呼び込み

【出典】下図 大阪府ホームページ 成長特区税制リーフレットから抜粋（一部加工）



**2026年度から量子技術・AI技術等に関する事業に対しても優遇対象を拡大予定**

- 言語・文化を含む人文社会科学に関する多様な知を活かし、技術の社会実装に伴い生じる課題にアプローチ。社会に寄り添い、持続可能な未来を創造する

地域に生き世界に伸びる  
Live Locally, Grow Globally

6

## 持続可能な産業/社会構造へ

- ◎サイエンスヒルズを拠点に社会と接続
- ◎大阪大学を核とした国際的な技術・人材交流基盤の確立
- ◎教育・生活・産業・地域が一体となった共生型社会の実現

5

## 大阪大学のリソースによる課題解決の加速

- ◎イノベーションによる新価値創造、国際展開
- ◎社会価値デザイン機構による社会への価値提供
  - ▶生活支援：阪大ふくふくセンターが複言語・複文化共存の仕組みを提供
  - ▶教育支援：外国語学部がアジア・アフリカ、欧米の言語・文化理解に貢献
  - ▶地域連携：ELSIセンター、SSIによる制度設計・共創プロジェクト展開

4

## イノベーション拡大と生活・教育の新たな課題発生

- ◎人材のグローバル化等に  
よるイノベーションの拡大
- ◎グローバル化に伴う新たな課題発生
  - ▶来日外国人・帰国生徒の教育、生活の支援
  - ▶超高齢化の更なる進展

3

## グローバルな人的交流の加速

- ◎大学、地域への外国人研究者、留学生の増加
  - ▶研究、事業目的の長期出張・移住の増加
  - ▶家族帯同による来日者、帰国生徒の増加
- ◎地域コミュニティとのつながり深化

2

## 企業群×研究コミュニティ×大阪大学の連携促進

- ◎産学共創によるイノベーション創出
- ◎国際共創による世界的な研究
- ◎地域から世界へ通じる技術の育成
- ◎特にアジア・アフリカ向けの技術展開

1

## 産業/社会構造変革の起点

- ◎地域・産業の課題認識
- ◎世界的視野での社会課題の抽出と学際性富む研究教育の推進
- ◎企業の活性化と技術革新の必要性

更なる国際化・発展の鍵となるグローバルサウスを含めた非英語圏への外国語学部（25言語）を有する阪大にしかできないアプローチで対応

持続発展の律速となる地域課題（在留外国人の増加、複文化・複言語）に外国語学部（25言語）を有する阪大にしかできないアプローチで対応

- 社会に根差した知の創造・知の実装・人材育成のための国際クラスタ形成事業
- 天の時、地の利を生かし、「Beyond EXPO 2025」構想と戦略的協調

目標実現に向けた取組み項目	現在の進捗状況	計画
<b>目標：教育研究の学外への展開：夢を育む街づくり &lt;アントレプレナー教育、海外国内から人流形成&gt;</b>		
大阪中心部への教育研究拠点の進出	【梅田エリア】大阪大学みらい創発hive（量子等の先端研究に触れる場を構築） 【中之島エリア】中之島センター、中之島クロスとの連携（免疫・オルガノイドによる先端医療）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 未来の研究者育成のため、中高生に大学の「知」を学ぶ場を提供。量子コンピューター等の分野で計画</li> <li>● アントレプレナーシップ教育/アントレプレナー教育を実施</li> </ul>
関西の健康の基盤となる大学と関連病院ネットワーク（19病院・1万床超）を活用する体制の構築	リアルワールドデータを基盤に研究を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 感染症有事の感染症治療薬開発等、治験ネットワークとして活用</li> </ul>
<b>目標：共同研究の創出：夢に出会える街づくり &lt;大学（学生・研究者）、国内企業、海外企業等とのマッチング&gt;</b>		
大阪大学を中心とした関西・東海広域連携とアカデミア連合体の形成	大阪大学/東海大学機構で関西・東海広域連携をスタート 大阪大学/大阪公立大学/岡山大学でアカデミア連合をスタート	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アカデミアのシーズ、スタートアップ情報を整理（情報提供体制の整備）</li> <li>● 他大学および研究機関（ナショナルセンター等）へと規模拡張</li> </ul>
大阪商工会議所によるアカデミア連合体と企業とのマッチング	2026.8.28 第1回開催 企業から500名（海外から30名）の参加予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2026年度以降も毎年開催し、大阪・関西のシーズを国内外へ導出</li> </ul>
自治体・経済団体の支援による重要分野のアカデミアシーズの海外展開	フュージョン、量子に関してはすでに実績あり 【フュージョン】スタートアップ海外展開 【量子】Oxford、NYU等の海外大学と共同研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治体・経済団体の支援による海外展開</li> <li>● 安全保障を十分考慮の上、大阪・関西にある領事館への共創活動を紹介</li> </ul>
<b>目標：スタートアップの集積地の形成：夢をかなえる街づくり &lt;新産業創出等による地域経済振興&gt;</b>		
大阪大学による大学発スタートアップ支援	OUVC1号ファンド、2号ファンドによるスタートアップ支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学内にインキュベーション施設を新設</li> <li>● 量子研究に関わるキャンパスの特区化</li> <li>● ファンドによるスタートアップ支援（大学/研究所の垣根を越えた支援を実施）</li> </ul>
関西にスタートアップを集積形成	経済団体との連携開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大阪・関西に数多く存在するスタートアップ支援のナビゲーション</li> </ul>